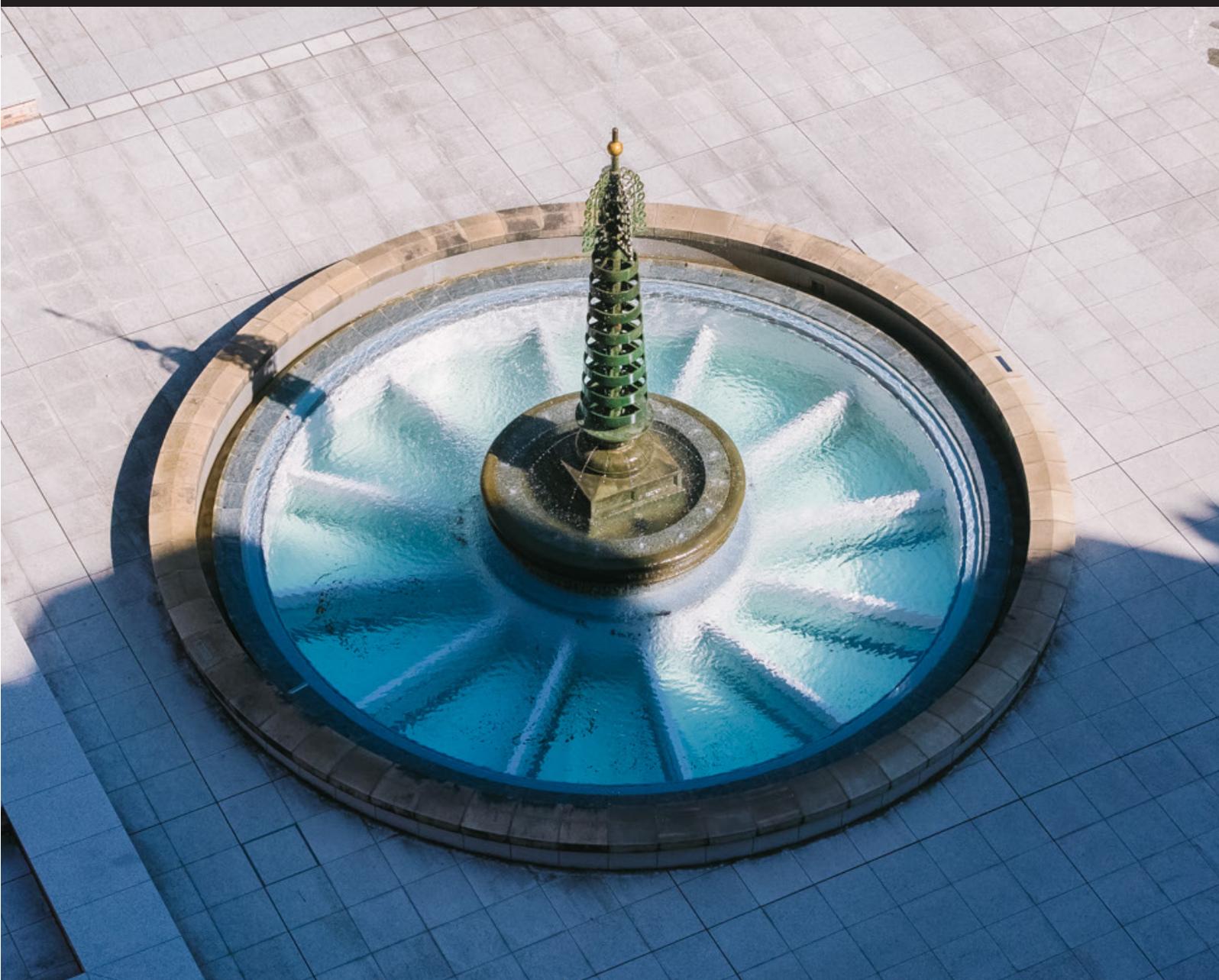


The University of Tokyo Library System Bulletin

図書館の窓

Vol.59 No.2
2021.10



東京大学OPACが新しくなりました!

学術情報リテラシーのサイト「Literacy」オープン! GACoS はリニューアルしました

自宅でも!キャンパスでも! withコロナ時代の図書館活用術

エッセイ "個人情報としての読書"

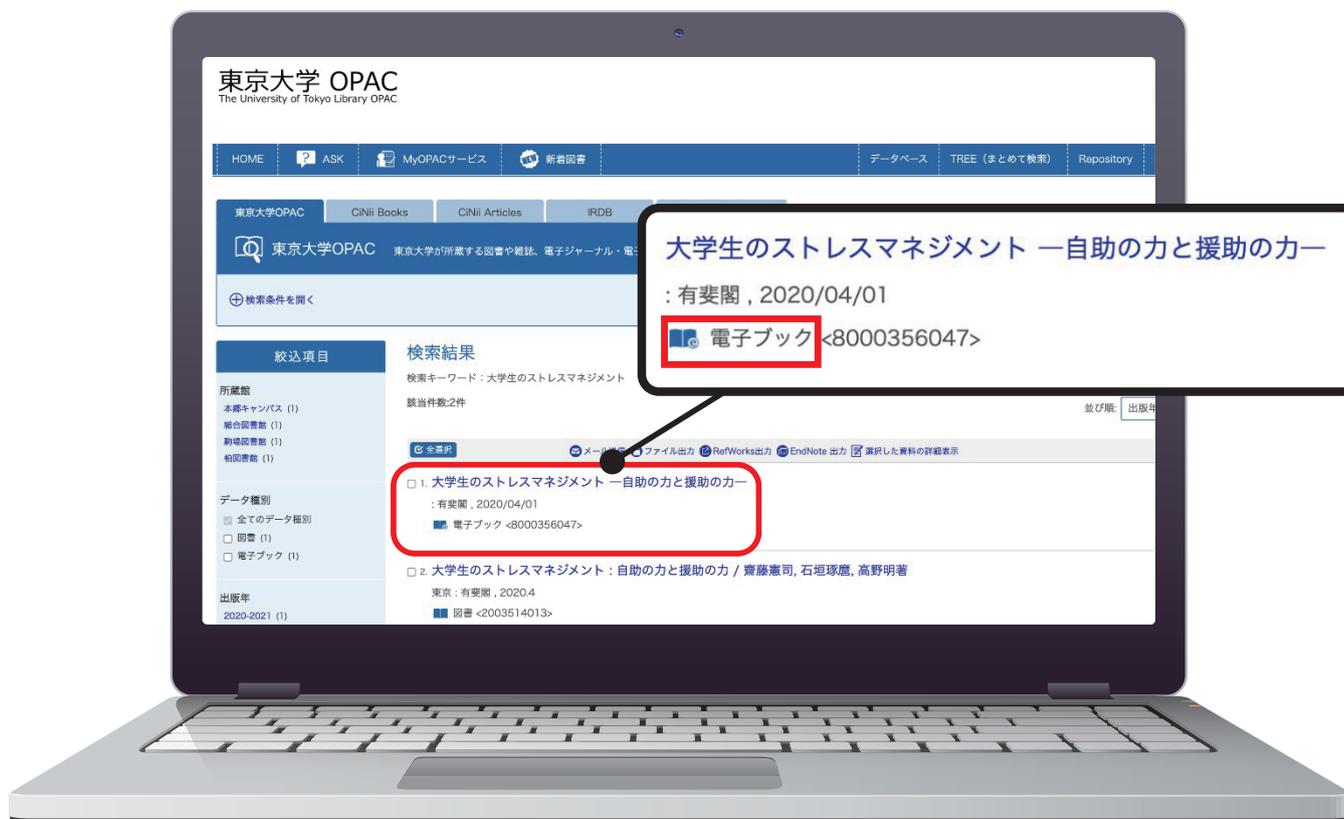
Aug. 2021
UTokyo OPAC
Renewal

東京大学OPACが 新しくなりました!

東京大学OPACは東京大学が所蔵する図書・雑誌等の資料を検索できるツールです。2021年8月からは東京大学で利用できる電子ジャーナルや電子ブックも検索できるようになりました。ますます便利になった東京大学OPACをぜひご利用ください。

リニューアルポイント

① 電子ジャーナル・電子ブックが検索可能に



学内

<電子ブック>
大学生のストレスマネジメント 自助の力と援助の力

本文へのリンクをクリックすると、電子ジャーナル・電子ブックが確認できます。

ISBN	巻	本文へのリンク	リソース	注記1	注記2
9784641174566	大学生のストレスマネジメント	フルテキスト	Maruzen eBook Library	同時アクセス数1	
4641174563	大学生のストレスマネジメント	フルテキスト	Maruzen eBook Library	同時アクセス数1	

学内からアクセスしている場合は「フルテキスト」のリンクが表示されます。リンクをクリックするとそのタイトルの電子資料が利用できます。

学外

<電子ブック>
大学生のストレスマネジメント 自助の力と援助の力

所蔵情報を非表示

本郷キャンパス

URL	配架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	刷年	コメント
<input checked="" type="checkbox"/> URL	電子ブック			OB00384975	その他			Maruzen eBook Library

学外からアクセスしている場合は「URL」ボタンが表示されます※。「URL」ボタンをクリックすると、UTokyo Accountの認証後、そのタイトルの電子資料が利用できます。

※UTokyo Accountの認証が必要です。出版社との契約上、学外からのアクセスが認められてないタイトルは「URL」ボタンは表示されません。また、「URL」ボタンが表示されるタイトルであっても、UTokyo Account 認証後、契約上の理由により、エラーメッセージが表示され、利用できない場合があります。

リニューアルポイント

② スマートフォンでも使いやすく

画面のサイズに合わせてレイアウトが最適化されるようになり、スマートフォンやタブレットでも使いやすくなりました。



リニューアルポイント

③ 仮想書架

OPACの画面でも、本棚を眺めるように図書を探せたらいいなと思ったことはありませんか？ 新しい東京大学OPACでは、検索した図書の前後に並んでいる図書の書名や表紙の写真を表示する機能が搭載されました。請求記号順に並んで表示されます。類似テーマの図書を探す際にご利用ください。

<図書>
ダイダクセイ / ストレス マネジメント : ジジョ / テカラト エンジョ / テカラ
大学生のストレスマネジメント : 自助の力と援助の力 / 齋藤憲司, 石垣琢磨, 高野明著

所蔵情報を非表示

本郷キャンパス

記架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	別年	コメント	仮想書架
総合館・3F開架		377.9.Sa25	0014803019					

東京大学応援部図書 / 最終年月 377.9.Sa22 3011427998 新場館・4F開架	大学生のストレスマネジメント : 自助の力と援助の力 / 齋藤憲司, 石垣琢磨, 高野明著 377.9.Sa25 0014803019 総合館・3F開架	大学と学生の法律関係 : 「学生の地位と学生懲戒」の理論 / 斎藤祥著 377.9.Sa25 3007157765 新場館・B1F集塵	美しいキャリアデザイン / 齋藤琢, 岡崎洋, 佐藤勝彦著 377.9.Sa25 3013196476 新場館・4F開架

※表示には数分かります。

東京大学OPACの歴史

今でこそインターネットで24時間いつでも誰でも利用できるOPAC。そんなOPACの歴史を紐解くと、情報技術の変遷が見られます。

◆東京大学OPACの誕生

東京大学OPACは1986年6月に利用が始まりました。当時は、披露会が行われるほど画期的なものでした。完成後、しばらくは図書館の中でのみ使えるシステムでしたが、1992年からは学内ネットワークと接続し、研究室のパソコンからも利用できるようになりました。



『東京大学附属図書館電算化システム LILIPUTの概要』より

◆WebOPACの公開

1999年10月にWebブラウザで利用できるOPACが正式公開されました。現在のOPACの原型と呼べるシステムです。インターネット上で一般公開され、いつでも誰でも東京大学の蔵書を検索できるようになりました。OPACはその後、「多言語対応」や「MyOPAC」の機能を追加するなど、リニューアルを続け、現在に至ります。



学術情報リテラシーのサイト

「Literacy」オープン!

GACoSはリニューアルしました

GACoS

Literacy

インターネットで学術情報を探するための入口としてのGACoS(ガコス)は、2021年8月に附属図書館ウェブサイト内に「Literacy」として移行し、全面リニューアルしました。デザインを一新し、これからも学習や研究に役立つ情報の発信を行なっていきます。新しい「Literacy」サイトをどうぞよろしくお願いします。

「Literacy」トップページ 日本語

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy>



Pick Up!

1

2

3

東京大学附属図書館

図書館一覧 東京大学OPAC ASK Literacy 日本語 English

ホーム ニュース イベント データベース一覧 コレクション 図書館概要 お問い合わせ サイト内検索 検索

Literacy

ホーム

利用案内

ニュース

講習会

イベント

データベース一覧

定番データベース

学外からの利用

レポート・論文作成支援

文献管理ツール

Litetopiメールマガジン

お問い合わせ

Literacy

Literacy

2021-08-11 Literacyサイトオープン

Literacy

2021-08-05 「全国報刊索引」のトライアル(2021.10.5まで)

Literacy

2021-08-03 東京大学OPACのシステムリプレイスとMyOPAC/ASKサービスの一時停止について

Literacy

2021-07-26 8/31 SSL-VPN Gatewayサービス旧サイトが閉鎖します

Literacy

2021-07-12 認証GW/SSL-VPN Gatewayサービス経由でWeb of Scienceが利用できません

1 講習会に参加したい!



講習会

東京大学での文献検索の方法や、文献管理ツールの使い方の講習会を開催しています。

Zoom

オンライン講習会実施中

現在、講習会は主にオンライン(Zoom)で開催しています。ご自宅からでもお気軽にご参加ください!

講習会や新しいデータベースの情報はこちらでも発信中!

◎Litetopiメールマガジン

購読申込は [Litetopiメールマガジン](#) を参照

◎Twitter

@UTokyo_Literacy



② データベースを使いたい!

データベース一覧

東京大学で利用できるデータベースを検索できます。GACoSでの「データベースを探す」の機能はこちらに移行しました。画面上部メニュー中の「データベース一覧」と同様です。

★データベース一覧の画面が変わりました!

E-journal & E-book Portal

Off-Campus
Open

利用する

利用する (EZproxy)

東京大学で利用できる電子ジャーナル・電子ブックのリンク集です。

データベースにアクセスできる場所を示すアイコンが新しくなりました。

新しい学外アクセスサービスEZproxyが始まりました!

東京大学所属の方を対象に、大学が契約している電子リソースを学外から利用するためのサービスです。Utokyo Accountでサインインしてご利用ください。

データベース一覧の使い方 (日本語)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/db>



③ レポートや論文作成に便利な情報を知りたい!

レポート・論文作成支援

レポートや論文を作成するために必要な情報を紹介しています。学内で利用できるサービスや検索の知識などがまとまっています。

今後のGACoSについて

「Literacy」サイトへのリニューアルにより、GACoSの更新は終了しました。2021年度内にサイトを閉鎖する予定です。1999年10月のオープンより、多くの方々にご利用いただきました。これまでたくさんのご利用ありがとうございました!



2003年度当時のGACoS



2021年8月のGACoS

自宅でも!キャンパスでも! withコロナ時代の図書館活用術

電子ブックを活用しよう!

「コロナ禍でなかなか図書館・室に行けない…。」

「自宅からでも手軽に学習・研究がしたい…。」

そんな方はぜひ東京大学で使える

電子ブックなどの電子リソースをご利用ください。



どんな電子ブックが使えるの?

EBSCO eBook Collection、Maruzen eBook Library、KinoDen、Springer eBooks、Wiley Online Libraryなどの電子ブックが約6万タイトル利用できます。OPACやE-journal & E-book Portal、TREEから検索することもできます。



自宅など、学外からのアクセスの方法は?

学生・教職員は、EZproxyサービスを経由すれば、一部の電子リソースが学外からもアクセスが可能です。事前に準備が必要なものもありますので、詳細は下記QRコードからご確認ください。



おすすめの電子ブックを簡単に知りたい!

総合図書館本館3階ホールには、特におすすめの電子ブックをまとめた「UTokyo eBook Collection」の展示コーナーがあります。ご来館の際はぜひご覧ください。

リモートでの充実した学習・研究活動のため、電子ブックなどの電子リソースをぜひご利用ください!

【利用する際の注意】

電子リソースによっては、同時ログイン数に制限がありますので、利用が終わりましたら、必ずログアウトをしてください。
電子リソースを東京大学構成員以外に利用させることや、大量ダウンロードなどの不正利用は厳禁です。
東京大学全体で利用を停止させられる場合がありますので、必ず利用上の注意を守ってご利用ください。

学外からの電子リソースの利用(日本語)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/offcampus>



電子リソース利用上の注意(日本語)

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/caution>



Check!

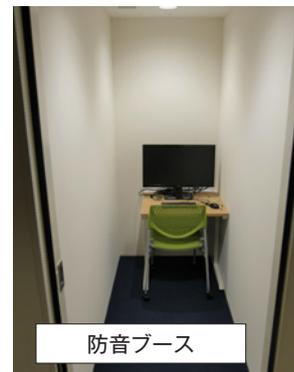


オンライン授業の受講におすすめ! 総合図書館の発声可能エリアのご紹介

「オンライン授業で発言を求められるけれど、受講できる環境がない…」という方、総合図書館にお越しください! 別館ライブラリープラザでは、ネットワークに接続した手持ちのPC、タブレット等でビデオ通話等が可能です(感染症拡大防止のため、複数人での会話はできません)。もちろん、UTokyo WiFiも使えます。



ライブラリープラザ



防音ブース

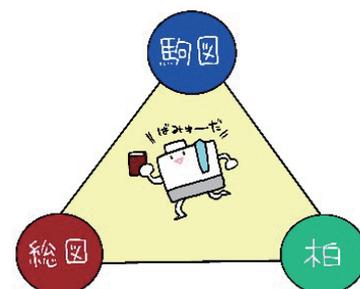
また、総合図書館本館2階に、発声ができる個室「防音ブース」(全4室)を近日中にオープンします! ウェブからの予約制で、オンライン授業の受講や語学の練習等に利用できます。

なお、感染症対策のために利用制限やサービスの変更がおこなわれる場合があります。最新の情報は総合図書館のウェブサイトでご確認ください。

取り寄せ・予約サービスが拡大しました

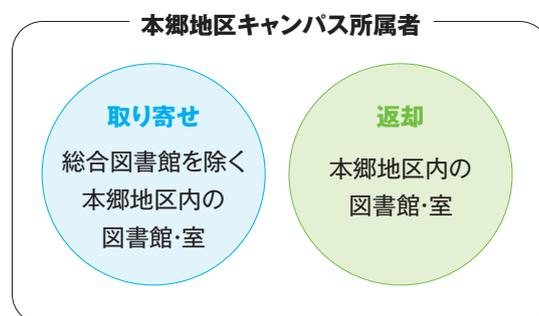
①取り寄せ・予約資料が駒場図書館でも受け取れるようになりました

他キャンパスからの取り寄せ資料・予約資料は、これまでは自身の所属図書館・室および総合図書館・柏図書館での受け取りが可能でしたが、2021年8月10日より駒場図書館でも受け取れるようになりました。



②本郷地区(本郷・弥生キャンパス)内取り寄せ・返却が正式サービスになりました

◎本郷地区内の資料を自分の所属図書館・室で受け取りたい。
◎本郷地区内の所蔵館まで資料を返却しにいくのが面倒だ。
そういう時は、「本郷地区内取り寄せ」「本郷地区内返却」サービスをご利用ください。
本サービスは2021年8月31日までの臨時措置でしたが、正式サービスになりました。今後も、本郷地区所属者は、本郷地区内の図書館・室(総合図書館を除く)から資料を取り寄せることができます。
返却は本郷地区内のどこの図書館・室でもできます。



①②とも受け取り場所は、MyOPACで取り寄せ・予約をしたときに表示される図書館・室から選ぶことができます。

◀文学部所属者の例
※貸出中でない総合図書館資料は除く

取り寄せ・予約方法等の詳細は附属図書館のウェブサイトをご確認ください。



個人情報としての読書

山中慎太郎

人文社会系研究科ドイツ語ドイツ文学研究室
博士後期課程2年

神戸新聞は2015年10月5日付の記事で高校図書館の貸出カードの記録から世界的作家村上春樹の名前が見つかったことを伝えており、高校生にしてフランスの作家ケッセルを讀んでいたらしい彼の「早熟」ぶりを強調するのだが、これには「プライバシー」の観点から抗議の声が上がり、日本図書館協会がこの報道を「是認できない」ものだとして声明を出すにいたっている。わたしとしては作家の読書記録(体験)がプライバシーという言葉で語られるということに違和感をおぼえるものの、それは文学研究という営みに携わる者のガサツさの現れと言えるのかもしれない。

「もっともノーベル賞に近い」という枕詞を付される作家と対照的に、実際にノーベル賞を与えられた作家である大江健三郎については彼の自筆原稿が東大文学部に寄託され、「大江健三郎文庫」なるものが設立されるとのことであるが、「早熟」かどうかはさておくと、彼の在学時代の読書記録が存在するとすれば、それは大江の読者であれば研究者ならずとも見たいと思うだろうし、そのような記録を繙くことによって彼の小説がどのようなテキストに接ぎ木されて生まれたものなのかということもさらに詳らかになるのかもしれない。もっとも東大図書館ではプライバシーの観点から、当然のことながら図書貸出カードといったものは存在してはいないのだし、そもそもかつてそのようなものがあったのかということもわたしは把握していない。

村上や大江のような存命中の作家のプライバシーが顧慮されるべきだということは当然のこととし

て、亡くなって随分経った作家のプライバシーについてはどうだろうか。たとえば総合図書館鷗外文庫にて、わたしたちは作家で医師、ゲルマニスト(というより独逸文學者)でもあった森鷗外の蔵書を閲覧し、そのような開架された個人情報の中で作家の読書体験を追体験することもできるのだが、一方、娘で作家の森茉莉の綴る親密な記憶によって、白い御飯に四等分した葬式饅頭のをせ、煎茶をかけて食べていたらしい大作家の賤しい食の嗜好という文学研究から遠く隔たった個人情報が暴かれてしまう瞬間に出くわすこともありうるのだ。

ところで図書貸出カードの中の作家の読書記録という個人情報について憂慮する以上に、わたしたちは公立図書館が捜査機関に個人情報を提供していたらしいというニュースに慄然としてしまうのだが、それはまた別の話なのである。

1. 村上春樹の図書カードをめぐる事件については、関係のない人々の読書記録を含めて公開されてしまったことも問題視されている。この事件の顛末と日本図書館協会の声明その他に関しては以下のウェブサイトを参照(2021年7月10日閲覧)
(<https://www.jla.or.jp/portals/0/html/jiyu/toshocard2015.html>)
2. 森茉莉の引用については以下の書籍による。森茉莉著、早川暢子編『貧乏サヴァラン』(ちくま文庫 1998)
3. 公立図書館による捜査機関への個人情報提供については、日本国憲法第35条にもとづく「令状の確認」なしに個人情報を提供していたことが問題になっている。

本誌中のサービス提供状況は2021年10月時点のものです。状況によりサービス内容が変更となる場合があります。最新の情報は各図書館・室のWebサイトをご覧ください。

図書館の窓 Vol. 59 No.2(通号459号) 2021年10月1日発行

発行人: 木下聡

編集: 附属図書館広報委員会

発行: 東京大学附属図書館

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話03(5841)2612

E-mail kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp

附属図書館Webサイト <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>

図書館の窓
バックナンバー

